

令和7年度事業概要報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

1 協会の沿革

昭和47年3月3日 任意団体「全国家庭用健康治療機器工業会」として発足

昭和48年8月1日 社団法人 日本健康治療機器工業会を設立
(厚生省、通商産業省共管の公益法人)

平成6年4月1日 社団法人 日本ホームヘルス機器工業会と改称

平成17年8月1日 社団法人 日本ホームヘルス機器協会に改組

平成24年4月1日 一般社団法人 日本ホームヘルス機器協会に移行

2 会員の動向

年 度	正 会 員	賛 助 会 員	特別賛助会員	合 計
(設立時)				
昭和 48 年度	33	31	—	64
49 年度	39	53	—	92
50 年度	44	70	—	114
60 年度	56	103(最高)	—	159
平成 5 年度	98	89	—	187(最高)
6 年度	106	69	4(新設)	179
7 年度	108(最高)	67	4	179
令和 3 年度	75	43	14	132
4 年度	73	46	15	134
5 年度	74	50	12	136
6 年度	74	47	13	134
7 年度	81	47	12	140

(1) 正 会 員 (81社)

- ・(株)アートネイチャー
- ・阿蘇製菓(株)
- ・アドバンスジャパン(株)
- ・アルケア(株)
- ・(株)エー・アンド・デイ
- ・(株)OSG コーポレーション
- ・オンヨネ(株)
- ・コスモ技研(株)
- ・サンテック(株)
- ・シチズン・システムズ(株)
- ・積水成型工業(株)
- ・(株)創通メディカル
- ・(株)タニタ
- ・(株)テクノ高槻
- ・東阪電子機器(株)
- ・(株)トランスタイル
- ・西川(株)
- ・(株)日本トリム
- ・パナソニック(株) くらしアライアンス社
- ・ピップ(株)
- ・ファミリーイナダ(株)
- ・不二電子(株)
- ・(株)ベステック
- ・マクセルイズミ(株)九州事業所
- ・(株)メディカサトウ
- ・ヤーマン(株)
- ・(株)リブレックス
- ・(株)相生電子
- ・(株)アテックス
- ・アポロ電気(株)
- ・(株)イズミズ
- ・(株)MTG
- ・(株)OCL
- ・(株)ケースリー
- ・コスモヘルス(株)
- ・シェパード・インターナショナル(株)
- ・(株)シャルレ
- ・(株)セルパワー
- ・大東電機工業(株)
- ・(株)ツカモトコーポレーション
- ・テルモ(株) DM ヘルスケア
- ・(株)TOKIO Lab
- ・(株)ドリームファクトリー
- ・日東工器(株)
- ・(株)日本理工医学研究所
- ・(株)BHS
- ・ファーストメディカル(株)
- ・ファミリー・サービス・エイコー(株)
- ・(株)フットワン
- ・ヘルスインターメソッド(株)
- ・丸菱産業(株)
- ・(株)メディカル電子工業
- ・山本化学工業(株)
- ・(株)レッカム
- ・(株)アクアバンク
- ・(株)アデランス
- ・アルインコ(株) フィットネス事業部
- ・伊藤超短波(株)
- ・エレコムヘルスケア(株)
- ・オムロンヘルスケア(株)
- ・ココロカ(株)
- ・コロナ工業(株)
- ・ジェクス(株)
- ・鑫三海(株)
- ・(株)ソーケンメディカル
- ・ダイトウボウ(株)
- ・TBCグループ(株) ビューティ&ライフ研究所
- ・(株)デンケン ヘルスケア事業部
- ・(株)トップラン
- ・(株)ナック
- ・日本精密測器(株)
- ・(株)白寿生科学研究所
- ・(株)PITTAN
- ・ファイテン(株)
- ・(株)フジ医療器
- ・フランスベッド(株)
- ・(株)ホームーイオン研究所
- ・ミビオ(株)
- ・メディテクノジャパン(株)
- ・ユタカ電気(株)
- ・(株)ワコール

(五十音順)

(2) 賛助会員 (47社)

- ・(株)アラミック
- ・Ai ロボティクス(株)
- ・(株)MUK
- ・(株)光星
- ・(同) コモリ
- ・(株)サンメディカル
- ・(株)ジェイメック
- ・セコム(株)
- ・(株)セントセルコーポレーション
- ・(株)チュウオー
- ・(株)日創プラス
- ・(株)ハーツファミリー
- ・(株)ファンビータ
- ・(株)マルタカ
- ・MED Communications(株)
- ・(株)リベルタ
- ・(株)ウィズ・アス
- ・エイシン電機(株)
- ・(株)オンワードホールディングス
- ・小林製薬(株)
- ・(株)サイエンス
- ・(株)自然科学産業
- ・(株)ジヴァスタジオ
- ・(有)セブンウェイブ
- ・(株)惣田製作所
- ・(株)TENTIAL
- ・日本電熱(株)
- ・(株)BP-TECH
- ・(株)フィットラボ
- ・(株)マルタカ・ホールディングス
- ・(株)リゲッタ
- ・(株)ルネサンス
- ・エアロサービス(株)
- ・(株)エスエヌディ
- ・(株)黒田製作所
- ・コメット電機(株)
- ・(株)サンオート
- ・(株)シティライフ
- ・セイリン(株)
- ・セルヴァン製造宇治(株)
- ・滝川(株)
- ・(有)西東京電機
- ・ニン(株)
- ・(株)ファルコバイオシステムズ
- ・(株)的場電機製作所
- ・三井温熱(株)
- ・リビングテクノロジー(株)

(五十音順)

(3) 特別賛助会員 (12社)

- ・(株)いちばん社
- ・小泉成器(株)
- ・日本アムウェイ (同)
- ・理想科学工業(株)
- ・(株)加藤ガス設備
- ・(株)センチュリー
- ・(株)フィリップス・ジャパン
- ・(株)ルナサンド
- ・クルールラボ(株)
- ・豊島(株)
- ・ヘルメット潜水(株)
- ・(株)わかさ出版

(五十音順)

3 マーク事業

HAPI マーク頒布状況

年度	大マーク		小マーク		合計
	枚数	金額	枚数	金額	
	千枚	千円	千枚	千円	千円
令和3年度	36	1,986	10	337	2,323
4年度	43	2,382	8	271	2,652
5年度	39	2,162	8	254	2,416
6年度	44	2,401	6	201	2,602
7年度	41	2,263	9	307	2,570

HAPI マーク制度（信頼と安心のための HAPI マーク）

HAPI マークは、当協会の会員企業の製品に貼付されています。

「信頼と安心、製品を選ぶ目安」として消費者に親しまれています。

また、HAPI マークには、すべて生産物賠償責任保険が付保されています。

保険加入製品

- ・家庭用低周波治療器
- ・家庭用電位治療器
- ・家庭用超短波治療器
- ・家庭用電気磁気治療器
- ・家庭用電解水生成器
- ・家庭用治療浴装置
- ・家庭用マッサージ器
- ・家庭用指圧代用器
- ・家庭用光線治療器
- ・温灸器
- ・家庭用温熱治療器
- ・家庭用吸入器
- ・電気睡眠導入器
- ・電子血圧計
- ・電子体温計
- ・家庭用電子針
- ・尿検査器
- ・紫外線水殺菌装置
- ・心拍計
- ・床擦れ防止マット
- ・塩分計
- ・脱臭殺菌灯
- ・家庭用美容機器・健康機器
- ・口臭チェッカー
- ・組合せ家庭用医療機器

てん補限度額と免責金額

	身体障害賠償		財物損壊賠償	
てん補 限度額	1名につき	5,000万円	1回の事故につき 特約期間1ケ年につき	1,000万円 1,000万円
	1回の事故につき	3億円		
	契約期間1ケ年につき	3億円		
免責金額	1回の事故につき	1千円	1回の事故につき	1千円

4 消費者相談室事業

(1) 相談実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	件	件	件	件	件
電話	394	386	332	338	272
はがき	29	29	20	17	15
合計	423	415	352	355	287

(2) 令和7年4月～令和8年3月内容別受付件数

内 容		電 話	ハ ガ キ	合計件数
不 具 合 の 苦 情	製品に関する不具合	2	0	2
	身体に関する不具合	1	0	1
苦 情	広告・説明に関する問題（誇大広告等）	10	0	10
	勧誘・販売方法に関する問題	2	0	2
	契約に関する問題	2	0	2
	製品に関する問題	2	0	2
	その他	8	0	8
	事業者関連（連絡先、会員・非会員）	1	0	1
問 合 せ	認証番号・承認番号・許可番号	2	0	2
	セールストーク(効能効果含む)	12	0	12
	価格	3	0	3
	製品のしくみ	3	0	3
	H A P I マーク	2	0	2
	協会の取扱い機器等	2	0	2
	薬事法・特定商取引法関連等	1	0	1
	その他	6	0	6
	その他	6	0	6
相 談	身体への安全性（電磁波含む）	18	0	18
	品質性能	1	0	1
	信頼性	4	0	4
	商品改良要望	0	1	1
	修理・部品・使用方法の説明・アフターサービス等の要請	132	0	132
	事業者・商品の紹介依頼	23	0	23
	統計、カタログ、資料取扱説明書等請求	3	0	3
	中古品	2	0	2
	協会から会員企業への指導要請	1	0	1
	クーリングオフ・返品等	32	0	32
	その他	5	0	5
そ の 他	0	14	14	
合 計		280	15	295

(注) 合計数は、申出項目ごとに一件とカウントしているため、受付件数と一致しません。

5 教育事業

ホームヘルス機器コンプライアンスマスター講習

本講習は、消費者が安心してホームヘルス機器を購入することができる業界であるために、高い倫理観に基づく公正で健全な事業活動を実践し、業界の未来を背負って立つような高い専門性と最新の知識を身に付けた魅力ある者に育てることを目的として実施している。

本講習は、会員・非会員を問わず、業界に携わるすべての者が受講することができる。

ア 協会主催による開催日、場所及び受講者数

本年度は、WEB で開催した。

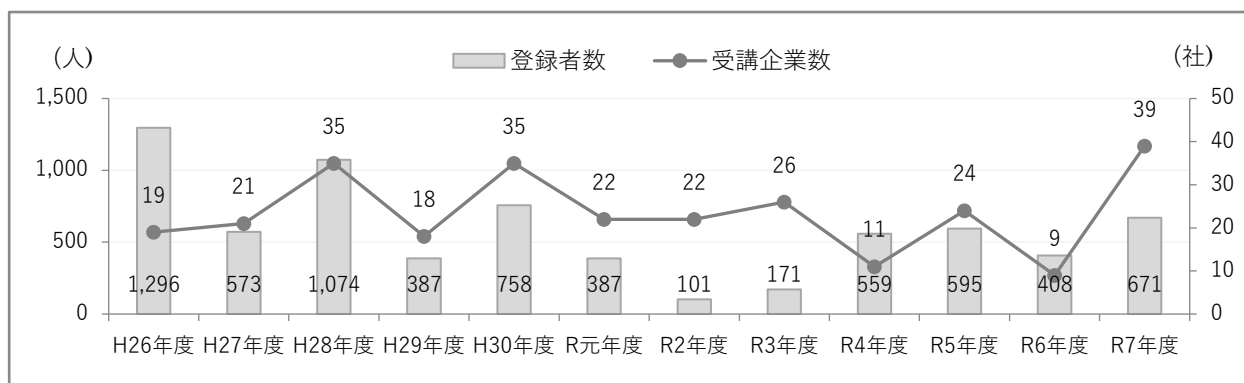
10月27日(月)～3月17日(火) WEB 配信 受講者数 671 人

イ 受講企業 262 社 (会員 68 社、会員の取引先企業 154 社、非会員 40 社)

(受講会員企業一覧：五十音順)

(株)アラミック	アルインコ(株)	(株)イズミズ
伊藤超短波(株)	(株)ウィズ・アス	(株)エー・アンド・デイ
(株)MTG	(株)MUK	エレコムヘルスケア(株)
(株)OCL	(株)加藤ガス設備	クルールラボ(株)
(株)黒田製作所	ココロカ(株)	コスモヘルス(株)
コロナ工業(株)	(株)サンオート	(株)ジェイメック
シェンペクス・インターナショナル(株)		(株)自然科学産業
シチズン・システムズ(株)	(株)シティライフ	鑫三海(株)
セイリン(株)	セコム(株)	(株)セルパワー
(株)ソーケンメディカル	大東電機工業(株)	ダイトウボウ(株)
(株)タニタ	(株)チュウオー	TBC グループ(株)
(株)テクノ高槻	テルモ(株)	(株)デンケン
(株)TENTIAL	(株)トップラン	(株)ドリームファクトリー
西川(株)	日本アムウェイ(同)	日本精密測器(株)
(株)日本トリム	(株)日本理工医学研究所	ニン(株)
(株)白寿生科学研究所	パナソニック(株)	(株)BHS
(株)BP-TECH	ピップ(株)	ファイテン(株)
ファミリーイナダ(株)	ファミリー・サービス・エイコー(株)	
(株)フジ医療器	(株)フットワン	フランスベッド(株)
ヘルスインターメソッド(株)	(株)ホームイオン研究所	(株)的場電機製作所
(株)マルタカ	丸菱産業(株)	三井温熱(株)
MED Communications(株)	(株)メディカサトウ	山本化学工業(株)
ユタカ電気(株)	(株)リッコー	リビングテクノロジー(株)
(株)レッカム		

登録者数及び受講企業数の推移



6 医薬品医療機器法等に関する相談

平成 18 年 7 月 1 日から「医薬品医療機器法等に関する相談」を会員限定(無料)で実施している。

令和 7 年度の相談は、前年度同様、薬事関連、承認・認証申請、取扱説明書及び電気用品安全法等について寄せられた。

相談件数は、32 件 30 社（前年度 18 件 11 社）、相談企業の内訳は、正会員 21 社、企業賛助会員 9 社であった（前年度は、正会員 7 社、企業賛助会員 4 社）。

相談は、電話、メール及び対面形式で行い、その相談内容は、承認・認証申請及び表示方法等の実務相談 56%（前年度 33%）、薬事・通知等の解釈 38%（同 39%）、内容確認 6%（同 28%）であった。

製品別では、相談の多い順に「電位治療器 16%（前年度 6%）」、「健康関連機器、美容機器 6%（昨年度は、それぞれ 0%、6%）」、「電解水生成器、マッサージ器、磁気治療器及び血圧計 3%（前年度は、それぞれ 0%、17%、0%、11%）」であった。

7 家庭用医療機器の JIS 改正等

(1) JIS の周知活動

JIS T 及び JIS C については、改正内容の周知等の活動を行った。

(2) 基本要件適合性チェックリストの周知活動

基本要件適合性チェックリストについては、改正内容の周知等の活動を行った。

(3) 自主基準の改正に向けた活動

家庭用熱療法治療器の安全確保（火傷）に関する自主基準については、新たに温熱治療器大形タイプ WG を発足し改正に向けた活動を行った。

8 家庭向け美容機器及び健康機器の安全性規格に関する活動

IEC 規格 (IEC 60335-2-115) の改正(ed.2)については、IEC の国際会議で議論した。また、EMS による首から上の電圧値、電流値等の制限値については、電圧電流制限 WG で議論し、IEC に提案する活動を行った。

9 ホームヘルス機器の広告・表示に関する周知活動等

当協会の適正広告・表示委員会は、家庭用医療機器を販売する企業による薬機法違反（虚偽・誇大広告）に関する報道を受け、昨年度の東京開催に続き、大阪においても講習会を開催することとした。

講習会の開催案内は、大阪府・京都府・兵庫県・奈良県及び滋賀県の各薬務課へ直接行った。

11月21日（金）に「家庭向け医療機器等適正広告・表示等に関する講習会」をTKP 新大阪カンファレンスセンター（大阪府）にて開催した（受講者数 55 名）。

また、適正広告・表示委員会は、京都府健康福祉部薬務課を訪問し、当協会の概要及び委員会の活動内容について説明するとともに、情報交換を行った。

会場開催：TKP 新大阪カンファレンスセンター（大阪府）

令和7年11月21日(金) 13:00 から 16:25

講演内容：第一部 ・家庭向け医療機器等適正広告・表示ガイドVの解説

講師：適正広告・表示委員会 伏見 哲也

・家庭向け医療機器等適正広告・表示ガイドVの主な変更箇所

講師：適正広告・表示委員会 辻井 厚希

・家庭用医療機器の広告に関する Q&A のご紹介

講師：適正広告・表示委員会 宮田 有季

第二部 令和5年の改正景品表示法と最近の違反事例について

講師：消費者庁表示対策課 課長補佐 中山 千明



10 販売管理者基礎講習の実施

医療機器販売及び貸与管理者の資格取得を目的とした講習事業については、平成16年10月18日付で厚生労働大臣から当協会が実施機関として登録され、平成17年1月31日から実施している。

さらに、平成18年4月、厚生労働省から本講習については、医療機器の専門性に配慮し講習を区別して開催することとされた通知が発出されたことから、当協会ではコンタクトレンズを除く高度管理医療機器等、特定管理医療機器、補聴器及び家庭用電気治療器について実施することとして、同年4月、厚生労働大臣に実施区分の変更届を提出し、5月から実施している。

本年度は、実地開催を8都市（東京、大阪、仙台、福岡、名古屋、札幌、広島、さいたま）で16回開催した。また、本年度は、eラーニングで10回開催、DVDで1回開催した。

実績は、次のとおりである。

実施開催(8都市)	16回
eラーニング開催	10回
DVD開催	1回
開催合計	27回
受講申込者数	3,333人
欠席者数	42人
受講者数	3,291人



11 販売管理者等継続的研修の実施

医療機器販売等の営業所管理者に対する継続的研修及び医療機器修理業の責任技術者に対する継続的研修については、平成18年1月12日付で厚生労働大臣あてに研修実施届を提出し、1月31日付で本研修の実施機関として受理され、4月26日から実施している。

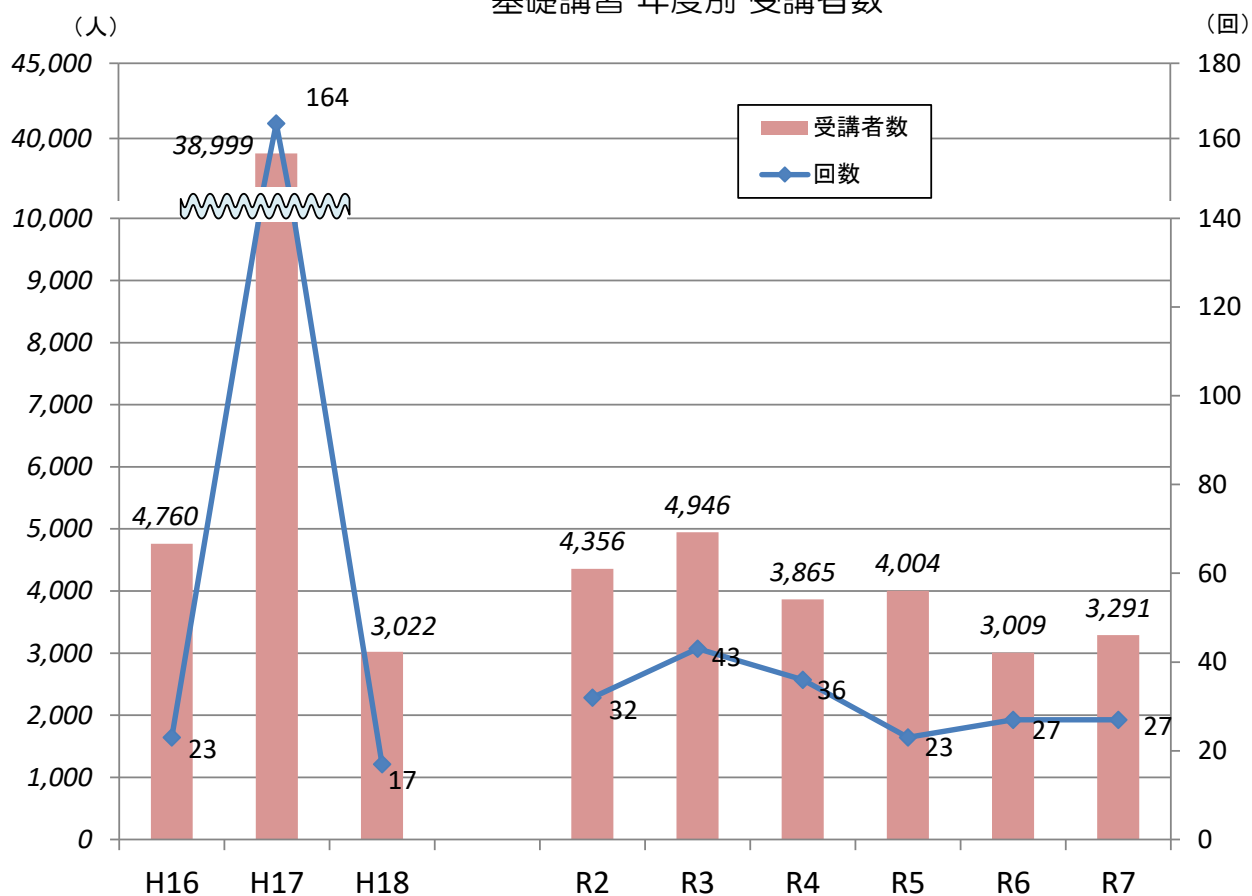
本年度は、eラーニングで10回開催、DVDで3回開催した。

実績は、次のとおりである。

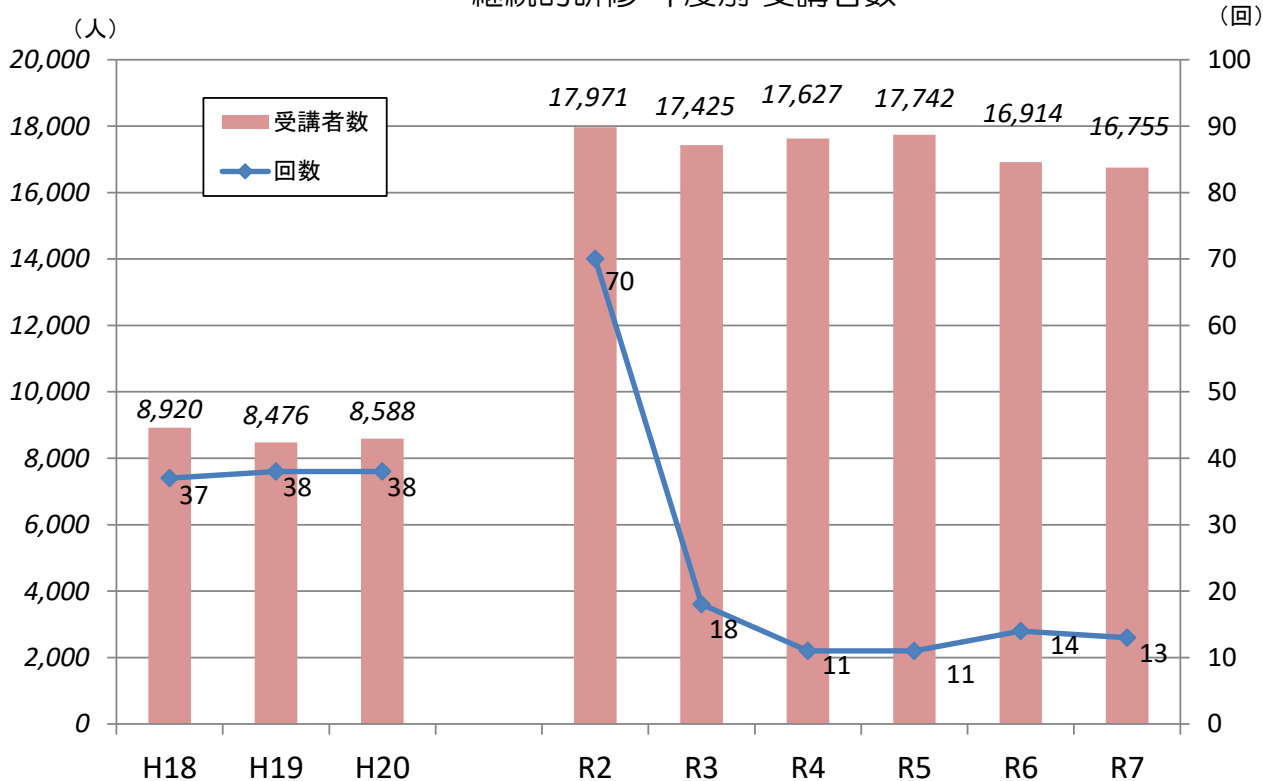
eラーニング開催	10回
DVD開催	3回
開催合計	13回
受講申込者数	16,956人
欠席者数	201人
受講者数	16,755人

医療機器販売管理者基礎講習及び継続的研修事業の実績

基礎講習 年度別 受講者数



継続的研修 年度別 受講者数



12 行政との意見交換会等

医療機器相談事業担当者連絡会議

日時 11月5日(水) 15時～17時

場所 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 会議室

出席者 厚生労働省医薬局医薬安全対策課

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 (PMDA)

独立行政法人 国民生活センター

一般社団法人 日本医療機器産業連合会

一般社団法人 日本ホームヘルス機器協会

一般社団法人 日本コンタクトレンズ協会

一般社団法人 日本補聴器工業会

公益財団法人 医療機器センター

議題

1. 活動状況について

(1) PMDA から活動状況の報告

(2) 医療機器関連団体から活動状況の報告

①一般社団法人日本ホームヘルス機器協会

②一般社団法人日本コンタクトレンズ協会

③一般社団法人日本補聴器工業会

(3) 独立行政法人国民生活センターから活動状況の報告

2. 意見交換等について

PMDA 医療機器相談の最近のトピック

3. その他

13 広報活動

(1) 展示会による広報

①バリアフリー2025 への出展 来場者数 48,621人

(第31回高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展)

会期 4月16日(水)～4月18日(金) (3日間) 10時～17時

会場 インテックス大阪 (大阪市住之江区南港北 1-5-102)

出展物等

- ・当協会パンフレット及び健康増進機器認定制度パンフレット
- ・パネルによる協会活動 (当協会の概要、当協会会員名簿、健康増進機器認定制度)
- ・会員企業の製品チラシ等
- ・健康増進機器認定制度の相談

健康増進機器制度部会 企業相談担当委員長 今川 恭子(株)フットワン 代表取締役社長)

②ダイエット&ビューティフェア 2025 への出展 来場者数 13,719 人

会 期 9月16日(火)～9月18日(木)(3日間)10時～17時

会 場 東京ビッグサイト 西ホール

出展物等

- ・当協会パンフレット及び健康増進機器認定制度パンフレット
- ・パネルによる協会活動(当協会の概要、当協会会員名簿、健康増進機器認定制度)
- ・会員企業の製品チラシ等
- ・健康増進機器認定制度の相談

健康増進機器制度部会 企業相談担当委員長 今川 恭子(株)フットワン 代表取締役社長)

講 演

日 時 9月16日(火)15時35分～16時25分

場 所 東京ビッグサイト 西ホールC会場

演 題 着る医療機器市場の健全な育成とその大きな可能性

講 師 (一社)日本ホームヘルス機器協会 会長 山本 富造

③健康博覧会 2026 への出展 来場者数 27,004 人

会 期 2月25日(水)～2月27日(金)(3日間)10時～17時

会 場 東京ビッグサイト 西ホール

出展物等

- ・当協会パンフレット及び健康増進機器認定制度パンフレット
- ・パネルによる協会活動(当協会の概要、当協会会員名簿、健康増進機器認定制度)
- ・会員企業の製品チラシ等
- ・健康増進機器認定制度の相談

健康増進機器制度部会 企業相談担当委員長 今川 恭子(株)フットワン 代表取締役社長)

(2) 一般紙による広報

①日本経済新聞

5月28日(水)朝刊 全国版 一面全段モノクロ広告

国民の健康に寄与する 未来への胎動(広告)

(対 談) 厚生労働省 医療機器審査管理課長 高江 慎一

経済産業省 医療・福祉機器産業室長 渡辺 信彦

(一社)日本ホームヘルス機器協会 会長 山本 富造

②読売新聞

10月6日(月)朝刊 全国版 一面全段モノクロ広告

新しい家庭向け健康サポート 健康増進機器認定制度(広告)

広告掲載協力会社(2社)

(株)MTG、山本化学工業(株)

③朝日新聞

2月27日（金）朝刊 全国版 一面全段モノクロ広告

これまでも これからも 信頼と安心の製品を通じて

国民の健康づくりに貢献していきます（広告）

広告掲載協力会社（3社）（株）アクアバンク、（株）MTG、山本化学工業（株）

14 健康増進機器認定事業

健康増進機器認定製品（2026年3月13日現在）

認定製品：54製品、モデル追加製品：75製品 合計129製品

(2025年度に認定された製品)

認定番号	企業名	認定日・製品名・製品概要
0001-31	山本化学工業(株)	認定日：2025年8月29日 製品名：シンセンサー アイマスク
0001-32	山本化学工業(株)	認定日：2026年1月19日 製品名：バイオエスペランサ めぐり美 ネックストラップ
0001-33	山本化学工業(株)	認定日：2026年1月19日 製品名：バイオエスペランサ めぐり美 リング
0001-34	山本化学工業(株)	認定日：2026年1月19日 製品名：シンセンサー インソール
0044-1	ジェクス(株)	認定日：2026年3月13日 製品名：CHUCHU デンティストアー Rn
0046	(株)メディカサトウ	認定日：2025年4月16日 製品名：Flexor - System® シリーズ ソックス 製品概要：22～24,24～26,26～28 cmと3サイズ展開がある靴下です。さとう式のセルフケアを日常使用品として、着用するだけで温かく・柔らかく・軽いボディを体感出来る様に開発した製品。特許第6190558号取得。
0047	(株)MTG	認定日：2025年9月5日 製品名：SIXPAD Leg Belt 2 製品概要：少量の水を塗布し、巻いて始める太ももの筋トレ。大腿四頭筋、ハムストリング、内転筋に同時アプローチできます。トレーニング時間は1日1回15分、両脚同時に、また Foot Fit 3 と連携してご使用いただけます。
0048	(株)アテックス	認定日：2025年9月5日 製品名：ドライヘッドスパ マドロムーン 製品概要：機器の膨張収縮に合わせて呼吸リズムを整える、及び頭部筋肉の緊張を和らげてリラックスすることで眠りをサポートすることを目的とした製品。

認定番号	企業名	認定日・製品名・製品概要
0049	株式会社 TOKIO Lab	<p>認定日：2025年10月10日</p> <p>製品名：電動さく乳器 Latchii（ラッチー）</p> <p>製品概要：様々な哺乳瓶メーカーに対応した、電動さく乳器。 両胸同時さく乳で母乳分泌をサポートし、さく乳力アップに加え時短も可能に。 コードレスで場所を選ばず使用で、ママの快適なさく乳時間をサポートします。</p>
0050	株式会社 ケースリー	<p>認定日：2025年10月10日</p> <p>製品名：温活フローリング Just Touch</p> <p>製品概要：遠赤外線放射材をフローリング材の裏側に塗布することによって、フローリング材から放射される遠赤外線が血行を促進して体を温め健康増進に寄与する。</p>
0051	(株)MTG	<p>認定日：2025年10月23日</p> <p>製品名：ReD バイタルテック リカバリーソックス</p> <p>製品概要：繊維に高純度セラミックを練りこむことで、身体から放出された熱等を伝導及び吸収し遠赤外線を輻射し、被覆部および周辺部位を温めて血行促進による保温効果、及びリラックス効果を期待できる。</p>
0054	(株)MTG	<p>認定日：2026年3月13日</p> <p>製品名：Perine Fit</p> <p>製品概要：EMS（筋電気刺激）によって、鍛えにくい骨盤底筋のトレーニングができる機器。</p>

(注) 認定番号 0052 及び認定番号 0053、0053-1 については、いずれも発売前の製品であるため、本表には掲載していない。

15 おおみわじんじゅ 大神神社における神事「元気健康強健祭」事業

お祭り名称 元気健康強健祭

日 時 令和7年9月20日（土）11時30分～13時20分

場 所 奈良県桜井市三輪 1422 電話 0744-42-6633

参加者 18人

(注) 大神神社は、我が国最古の神社であり、医療機器・医薬品等医療に携わる者の守護神である。



16 公益目的支出計画の実施完了の確認書

当協会は、公益法人制度改革に伴い、内閣府公益認定等委員会の認可を受け、平成24年4月1日に一般社団法人へ移行した。

一般社団法人移行時の公益目的財産額については、公益目的事業の支出によって零とすることとなっており、当協会は、16か年で零とする「公益目的支出計画」を提出した。

当協会は、公益目的支出計画より3か年早い13か年で完了し、令和7年6月12日に「公益目的支出計画実施完了確認請求書」を提出、令和8年1月28日付けで内閣総理大臣より「公益目的支出計画の実施完了の確認書」（府益担第31号）を受領した。

これにより、当協会は、一般社団法人移行に関する手続きを全て完了し、令和7年度以降は、内閣府所管法人から外れることとなった。

【公印・契印（省略）】

府 益 担 第 3 1 号
令 和 8 年 1 月 2 8 日

一般社団法人日本ホームヘルス機器協会
代表者 山本 富造 殿

内閣総理大臣
高市 早苗

公益目的支出計画の実施完了の確認書

貴法人から令和7年6月12日付けでされた、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第124条の規定に基づく公益目的支出計画の実施が完了したことの確認の請求について、公益目的支出計画の実施が下記の日完了したことを確認します。

記

公益目的支出計画の実施が完了した日 令和7年3月31日

17 総会・理事会及び部会・委員会の活動報告

(1) 総会の実施状況

① 第73回総会（6月5日（木）開催）

(ア) 審議事項

- ・令和6年度事業概要報告書・収支決算書（案）
- ・当協会役員を選任（案）
- ・常勤理事の報酬の額

(イ) 報告事項

- ・令和7年度事業計画書・収支予算書

(2) 理事会の実施状況

① 第293回理事会（5月9日（金））政策総務委員会と合同開催

(ア) 審議事項

- ・入退会の申出
- ・当協会役員等の選任（案）
- ・令和6年度事業概要報告書・収支決算書（案）
- ・健康博覧会2026の協賛名義使用の承認申請
- ・令和7年度表彰者（案）

(イ) 報告事項

- ・政策総務委員会前回(2月14日)議事録
- ・健康増進機器認定要領(2025年3月1日改正)等
- ・健康増進機器認定状況
- ・当協会の総会・理事会等当日（6月5日）のスケジュール（案）

(ウ) その他

- ・一般消費者向け医療機器等研究会

② 第294回理事会（6月5日（木）開催）

(ア) 審議事項

- ・入退会の申出

③ 第295回理事会（6月5日（木）開催）

(ア) 審議事項

- ・当協会役員等の選任（案）
- ・政策総務委員会委員名簿等（案）
- 部会・委員会の部会長・委員長（案）

(イ) 報告事項

- ・当協会 総会・理事会・政策総務委員会等の開催予定表
- ・大神神社における神事（ご案内）
- ・本日（総会・懇親パーティー）のスケジュール

③ 第 296 回理事会第（10 月 10 日（金）開催）

(ア) 審議事項

- ・入退会の申出
- ・経理規程の一部改正（案）
- ・給与規程等（内規）の一部改正（案）

(イ) 報告事項

- ・ホームヘルス機器コンプライアンスマスター講習
- ・読売新聞に掲載する健康増進機器認定制度広告
- ・第 2 回会員交流・名刺交換会
- ・家庭向け医療機器等適正広告・表示等に関する講習会（大阪開催）
- ・健康増進機器の認定状況
- ・家庭向け美容機器及び健康機器の安全性についての規格活動
（IEC60335-2-115 改正について）

(ウ) その他

- ・大神神社の神事

④ 第 297 回理事会（1 月 9 日（金）開催）

(ア) 審議事項

- ・入退会の申出
- ・令和 8 年度事業計画書・収支予算書（案）
- ・家庭用の美容機器・健康機器及び健康増進機器に関する適正広告等委員会の設置（案）

(イ) 報告事項

- ・令和 8 年新年賀詞交歓会の開催

(ウ) その他

- ・医機連 一般消費者向け医療機器等研究会

⑤ 第 298 回理事会（3 月 6 日（金）開催）

(ア) 審議事項

- ・入退会の申出
- ・国際モダンホスピタルショー 2026 の協賛名義使用
- ・HOSPEX Japan 2026 に対する協力名義使用
- ・令和 8 年度各部会の事業計画書（案）
- ・令和 8 年度各委員会の事業計画書（案）

(1) 報告事項

- ・令和 8 年度基礎講習及び継続的研修の日程表
- ・公益目的支出計画の実施完了の確認書

(3) 部会の実施状況

【第1部会 家庭用電位治療器】

部会長 原 浩 之
主 査 本 間 智 介

1. 検討テーマ名

- (1) 適正広告、適正販売
- (2) 安全検討
- (3) 部会活動等活性化

2. 開催状況

部会は、2回開催した。(9月4日、3月16日)

3. 実施内容

(1) 適正広告、適正販売

- ①「家庭向け医療機器等適正広告・表示等に関する説明会（大阪）」の開催については、情報共有し、積極的な参加を促した。
- ②会員企業の販売活動に対する適格消費者団体NPO法人の申し入れ活動については、情報共有し、適正販売に向けての意識付けを行った。
- ③「家庭用医療機器の適正な広告等の実施に係る周知徹底について」（厚生労働省通知）及び「家庭用医療機器の適正広告等に関する法令遵守の徹底について」（当協会通知）を、委員へ重ねて案内し、適正広告、適正販売の向上を図った。

(2) 安全検討

- ①当協会の消費者相談、PIO-NET、薬事審議会からの情報及び各社からの情報を分析した。家庭用電位治療器の安全に係る事象はなかった。
- ②GVP活動においては、家庭用電位治療器に係わる情報を収集・分析し、定例会で共有した。自主基準策定及びJISの見直しの必要性は見られなかった。

(3) 部会活動等活性化

- ①定例会出席促進アイデア、活動活性化アイデア、参画企業の拡大案等に関して、委員へアンケートを実施した。
- ②定例会欠席委員への出席促進案内を行った。

4. 参加企業名

No	企 業 名	No	企 業 名
1	アポロ電気(株)	10	日本電熱(株)
2	伊藤超短波(株)	11	(株)日本理工医学研究所
3	ココロカ(株)	12	(株)白寿生科学研究所
4	コスモ技研(株)	13	(株)BHS
5	コスモヘルス(株)	14	(株)ベステック
6	(株)自然科学産業	15	(株)メディカル電子工業
7	(株)デンケン	16	(株)リブレックス
8	(株)ナック	17	(株)レッカム
9	西川(株)		

【第2部会 家庭用電解水生成器】

部 会 長 堀 晋 司

1. 検討テーマ名

- (1) 電気用品安全法改正への情報収集・対応
- (2) JIS・QMS の情報収集・対応
- (3) 適正な広告を行うための情報収集・対応

2. 開催状況

部会は開催せず、メール等で意思疎通を行った。

3. 実施内容

- (1) 電気用品安全法改正への情報収集・対応
電気用品安全法の改正情報に関しては、特に大きな動きはなかった。
- (2) JIS・QMS の情報収集・対応
 - ① JIS C 9335-2-207、JIS T 2004に関する問い合わせ対応を行った。
 - ② JIS T 2004に関連して食品衛生法が改正となり容器包装の材質がポジティブリスト化した件の対応を行った。
 - ③ JIS・認証基準技術委員会からの情報を、部会メンバーに随時発信した。
- (3) 適正な広告を行うための情報収集・対応
適正広告に関しては、対応を迫られるような事象は発生しなかった。

4. 参加企業名

No	企業名	No	企業名
1	(株)OSGコーポレーション	5	パナソニック(株)
2	コロナ工業(株)	6	(株)フジ医療器
3	(株)トリムエレクトリックマシナリー	7	リビングテクノロジー(株)
4	(株)日本トリム		

【第3部会 家庭用治療浴装置】

部会長 堀 晋 司

1. 検討テーマ名

- (1) 電気用品安全法改正への情報収集・対応
- (2) JIS・QMS の情報収集・対応
- (3) 適正な広告を行うための情報収集・対応

2. 開催状況

部会は開催せず、メール等で意思疎通を行った。

3. 実施内容

- (1) 電気用品安全法改正への情報収集・対応
電気用品安全法の改正情報に関しては、特に大きな動きはなかった。
- (2) JIS・QMS の情報収集・対応
 - ① JIS T 2005において疑義が生じた部分の問い合わせ対応を行った。
 - ② JIS・認証基準技術委員会からの情報を、部会メンバーに随時発信した。
- (3) 適正な広告を行うための情報収集・対応
適正広告に関しては、対応を迫られるような事象は発生しなかった。

4. 参加企業名

No	企業名	No	企業名
1	コロナ工業(株)	2	リビングテクノロジー(株)

【第4部会 家庭用電気マッサージ器・指圧代用器】

部会長 稲田 壮 秀

主 査 濱 田 美 幸

1. 検討テーマ名

- (1) 対象医療機器の安全で有効的な広告表現の研究（継続テーマ）
- (2) JIS 及び基本要件適合性チェックリスト改正内容の精査（継続テーマ）

2. 開催状況

部会は開催せず、メールで対応を行った。

3. 実施内容

- (1) 対象医療機器の安全で有効的な広告表現の研究（継続テーマ）

適正広告・表示委員会には、委員として参画し、委員会が主催する「家庭向け医療機器等適正広告・表示ガイドV」講習会の運営協力を行った。

- (2) JIS 及び基本要件適合性チェックリスト改正内容の精査（継続テーマ）

改正により追加及び修正された内容について、認証機関等より情報を収集し、部会委員にその対応状況について確認を行った。

4. 参加企業名

No	企 業 名	No	企 業 名
1	(株)相生電子	9	パナソニック(株)
2	エレコムヘルスケア(株)	10	ファミリーイナダ(株)
3	合同会社コモリ	11	(株)フジ医療器
4	(株)創通メディカル	12	フランスベッド(株)
5	大東電機工業(株)	13	(株)BHS
6	(株)ツカモトコーポレーション	14	(株)ベステック
7	(株)ドリームファクトリー	15	(株)的場電機製作所
8	日東工器(株)		

【第5部会 家庭用光線治療器】

部会長 永井 雅 一

1. 検討テーマ名

- (1) JIS T 改正後のフォローアップを行う
- (2) JIS C 9335-2-27 の改正内容の確認
- (3) 適正広告・表示委員会活動への協力
- (4) 部会委員の増員

2. 開催状況

部会は、1回開催した。(10月30日)

3. 実施内容

(1) JIS T 改正後のフォローアップを行う

JISの改正内容については、情報を収集し、その内容について確認した。

(2) JIS C 9335-2-27 の改正内容の確認

IEC60335-2-27 の改正内容を確認し、JIS C 9335-2-27 の改正について、全体の概要を確認した。

(3) 適正広告・表示委員会活動への協力

適正広告・表示委員会に7回出席し、家庭用光線治療器の良好な販促のために、広告表現に関して協議し提案をした。

(4) 部会委員の増員

ファミリー・サービス・エイコー(株)様が部会に参加登録した。

4. 参加企業名

No	企業名	No	企業名
1	アルインコ(株)	4	ファミリー・サービス・エイコー(株)
2	(株)黒田製作所	5	山本化学工業(株)
3	(株)センチュリー		

【第6部会 家庭用磁気治療器】

部会長 中村直仁
主査 伏見哲也

1. 検討テーマ名

- (1) 家庭用磁気治療器の認知度向上
- (2) 適正広告・表示委員会との連携及び情報共有
- (3) JIS・認証基準技術委員会との連携及び情報共有

2. 開催状況

部会は、1回開催した。(9月4日)

3. 実施内容

(1) 家庭用磁気治療器の認知度向上

- ① 個社の認知度向上事例について、情報共有した。
- ② SNSの活用などの提案や、各社のニュースリリースなどをHAPIで運営するメールマガジンを用いて発信することなどの提案があった。

(2) 適正広告・表示委員会との連携及び情報共有

適正広告・表示委員会に委員として参加した。部会では、京都府薬務課訪問と大阪開催の講習会について、情報共有した。

(3) JIS・認証基準技術委員会との連携及び情報共有

JIS・認証基準技術委員会に委員として参加した。部会では、JISの改正内容及び消費生活活用製品安全法等の改正について、情報共有した。

4. 参加企業名

No	企業名	No	企業名
1	阿蘇製薬(株)	4	ピップ(株)
2	(株)ソーケンメディカル	5	ファイテン(株)
3	(株)ナック	6	リブレックス(株)

【第7部会 家庭用電子血圧計】

部会長 鶴身嘉徳
主査 市川勉

1. 検討テーマ名

- (1) ユーザー団体から業界への要望について、対応の検討と実施
- (2) JISや基本要件適合性チェックリストについて意見交換し、対応の検討と実施
- (3) 国際規格や学会の動向について意見交換し、対応の検討と実施

2. 開催状況

部会は、1回開催した。(2月9日)

3. 実施内容

(1) ユーザー団体から業界への要望について、対応の検討と実施

日本高血圧学会の世界高血圧連盟 WHL 及び国際高血圧学会 ISH の声明に基づく血圧計試験結果集計に協力し、参加企業各社から試験結果を提出した。

日本高血圧学会のウェブサイトには、現在 10 年分 (1 月現在) の集計結果が掲載されており、今回提出分が 11 年目として掲載される予定である。

海外からも注目されているとのこと。(掲載 url: https://www.jpnsnsh.jp/com_ac_wg1.html)

(2) JIS や基本要件適合性チェックリストについて意見交換し、対応の検討と実施
今年度は動きが無かったため、状況確認と意見交換を行った。

(3) 国際規格や学会の動向について意見交換し、対応の検討と実施
部会内で情報共有し、今後対応について意見交換を行った。

4. 参加企業名

No	企 業 名	No	企 業 名
1	(株)エー・アンド・ディ	5	(株)タニタ
2	エレコムヘルスケア(株)	6	テルモ(株)
3	オムロンヘルスケア(株)	7	日本精密測器(株)
4	シチズン・システムズ(株)	8	パナソニック(株)

【第8部会 家庭用低周波治療器・家庭用超短波治療器】 部会長 秋本龍二
(主査 兼務)

1. 検討テーマ名

- (1) JIS T 及び JIS C の JIS 改正後のフォローアップを行う
- (2) 基本要件適合性チェックリスト改正後のフォローアップを行う
- (3) 適正広告活動
- (4) 広報事業活動

2. 開催状況

部会は、1回開催した。(12月15日)

3. 実施内容

- (1) JIS T 及び JIS C の JIS 改正後のフォローアップを行う
改正内容について、部会委員より情報を収集し検討を行った。
- (2) 基本要件適合性チェックリスト改正後のフォローアップを行う
改正内容について、部会委員より情報を収集し検討を行った。

(3) 適正広告活動

京都府健康福祉部薬務課訪問における広告関連薬事情報の交換、「家庭用医療機器等適正広告・表示に関する講習会」の大阪開催について支援を行った。

(4) 広報事業活動

実施内容は広報事業委員会の事業報告書による。

4. 参加企業名

No	企 業 名	No	企 業 名
1	伊藤超短波(株)	5	(株)ホームーイオン研究所
2	オムロンヘルスケア(株)	6	丸菱産業(株)
3	(株)日本理工医学研究所	7	(株)リブレックス
4	パナソニック(株)		

【第9部会 家庭用温熱治療器・温灸器】

部会長 荻田昌和
主 査 櫻井光康

1. 検討テーマ名

- (1) JIS T 及び JIS C の JIS 改正後のフォローアップを行う
- (2) 基本要件適合性チェックリスト改正後のフォローアップを行う
- (3) JIS の課題検討

2. 開催状況

部会は、1回開催した。(3月2日)

3. 実施内容

- (1) JIS T 及び JIS C の JIS 改正後のフォローアップを行う
家庭用温熱治療器、温灸器に関するJIS T 2008 及びJIS C 9335-2-211の改正内容については、情報共有及び改正による意見等の確認を行った。
- (2) 基本要件適合性チェックリスト改正後のフォローアップを行う
家庭用温熱治療器、温灸器に関する組合せ家庭用医療機器の基本要件適合性チェックリストの改正内容については、情報共有及び改正による意見等の確認を行った。
- (3) JIS の課題検討
温熱治療器大形タイプにおけるやけどリスク低減に関する懸念事項については、ワーキンググループを立ち上げて検討会を3回(5/29、7/31、3/2)実施し、試験方法の草案を検討した。引き続き、具体案を作成・検証し、自主基準化に向けて検討を進める。

4. 参加企業名

第9部会

No	企業名	No	企業名
1	アポロ電気(株)	8	西川(株)
2	伊藤超短波(株)	9	日本電熱(株)
3	(株)エヌエヌディ	10	(株)日本理工医学研究所
4	オムロンヘルスケア(株)	11	(株)ベステック
5	ココロカ(株)	12	三井温熱(株)
6	(株)サンメディカル	13	山本化学工業(株)
7	(株)チュウオー	14	(株)リブレックス

温熱治療器大形タイプWG

No	企業名	No	企業名
1	伊藤超短波(株)	4	(株)デンケン
2	(株)エヌエヌディ	5	西川(株)
3	ココロカ(株)	6	(株)日本理工医学研究所

【第10部会 家庭用美容機器・健康機器】

部会長 鈴木朋久
主査 橋口哲朗

1. 検討テーマ名

- (1) 家庭用美容機器に関する国内標準化活動
- (2) JIS・認証基準技術委員会との情報共有及び連携
- (3) 新たなカテゴリー機器に関する情報共有

2. 開催状況

部会は開催せず、メールで連絡、検討を行った。

電圧電流制限WGは、3回開催した。(4月25日、6月13日、7月14日)

3. 実施内容

(1) 家庭用美容機器に関する国内標準化活動

IEC新規格を自主基準に取り込むため、IEC60335-2-115改正に向けたTC61/MT53にエキスパートとして参画、以下活動を実施した。

①家庭用美容機器・家庭用健康機器に関わるIEC60335-2-115の改正に向けて4月1日オランダ(デルフト)で開催された国際会議に2名参加。

⇒主にIEC60335-2-115の改正に関わる筋電気刺激、皮膚電気刺激に関する電圧電流の制限、リモート通信について議論した。

②電圧電流制限WG（IEC60335-2-115改正）の検討状況については、10月7日と3月12日にメールで部会委員に情報共有した。

(2) JIS・認証基準技術委員会との情報共有及び連携

JIS・認証基準技術委員会（7月18日、12月12日）にて、各部会活動の情報が共有された。

また、今後のJIS化に向けた自主基準の改正活動についても、JIS・認証基準技術委員会より助言を得て進めて行く。

(3) 新たなカテゴリー機器に関する情報共有

本年度、新たなカテゴリー機器の情報はなかった。

引き続き、自主基準の改正活動と市場の状況も注視しながら、継続して情報共有を進める。

4. 参加企業名

No	企 業 名	No	企 業 名
1	(株)アテックス	6	(株)ジェイメック
2	(株)MTG	7	パナソニック(株)
3	クルールラボ(株)	8	(株)フィリップス・ジャパン
4	小泉成器(株)	9	(株)ホームイオン研究所
5	コメット電機(株)	10	ヤーマン(株)

【第11部会 販売業適正】

部会長 阿比留 宏
主 査 松田 貴史

1. 検討テーマ名

- (1) 販売員のモラル及びコンプライアンス意識の平準化及び公序良俗に反しない公明正大な販売活動の推進
- (2) 適正広告・表示委員会との連携
- (3) その他・情報共有

2. 開催状況

部会は、1回開催した。(11月19日)

3. 実施内容

- (1) 販売員のモラル及びコンプライアンス意識の平準化及び公序良俗に反しない公明正大な販売活動の推進

11月7日付けで厚生労働省が家庭用電位治療器販売会社に対し薬機法に基づく措置命令を行ったことを踏まえ、再発防止に向けた取組を通じて業界の信頼回復を図るため、政策総務委員会等において次の提案を行った。

- ①家庭向け医療機器等適正広告・表示ガイドVに基づく適正広告講習会の定期的な実施。
- ②法令遵守の徹底及び法令遵守状況の再点検、ホームヘルス機器コンプライアンスマスター講習の受講依頼（11月10日付け当協会発出の通知文）を会員企業の代表者宛に改めて送付する。

(2) 適正広告・表示委員会との連携

「家庭向け医療機器等適正広告・表示ガイドV」の内容及び変更点等について改めて情報共有を図った。

(3) その他・情報共有

改正景品表示法及びステルスマーケティング等における企業が注意すべきポイント等については、周知・情報共有するとともに、部会全体のリテラシー向上を図った。

4. 参加企業名

No	企業名	No	企業名
1	伊藤超短波(株)	8	パナソニック(株)
2	(株)ウェルカム	9	ファイテン(株)
3	オムロンヘルスケア(株)	10	ファミリーイナダ(株)
4	コスモヘルス(株)	11	(株)ホームイオン研究所
5	シエンパクス・インターナショナル(株)	12	(株)リブックス
6	(株)日本理工医学研究所	13	(株)レッカム
7	(株)白寿生科学研究所		

【第12部会 家庭用EMS機器】

部会長 松下 剛
主 査 熊崎 嘉月

1. 検討テーマ名

- (1) IEC60335-2-115 の改正案検討
- (2) 広告表現の市場動向チェック及び改善提案
- (3) EMS 機器による重大製品事故状況の動向把握と対策案検討

2. 開催状況

部会は、1回開催した。(10月6日)

電圧電流制限WGは、3回開催した。(4月25日、6月13日、7月14日)

3. 実施内容

(1) IEC60335-2-115 の改正案検討

2025 年 4 月 1 日の対面での IEC 国際会議(オランダ/デルフト市)に、日本から代表者 2 名が参加した。協議内容は「首から上の部位に対する安全基準変更提案」および「遠隔操作全面禁止の緩和提案」の 2 つ。前者は提案が採用され、継続審議の上、CDV フェーズにて改めて判断される方針となった。一方、後者は否決され、第 2 版にて遠隔操作全面禁止が適用されることを回避できなかった。

(2) 広告表現の市場動向チェックおよび改善提案

2025 年 10 月 6 日の部会にて、広告表現に関する最新市場動向の共有および各社で抱える課題とその対応方針等の協議を踏まえ、各委員の認識合わせができた。

(3) EMS 機器による重大製品事故状況の動向把握と対策案検討

2025 年 10 月 6 日の部会にて、事故情報データベース(PIO-NET)に登録された直近 1 年の事例を抽出して、各委員に共有した。従前同様、熱傷/皮膚障害が多いことや初見となる症状は挙がっていないことを把握できた。

4. 参加企業名

No	企 業 名	No	企 業 名
1	(株)アテックス	4	パナソニック(株)
2	(株)MTG	5	(株)ホームイオン研究所
3	クルールラボ(株)	6	ヤーマン(株)

【第 13 部会 家庭用遠赤外線血行促進用衣】

部会長 山本 富造
副部会長 松下 剛
主 査 松岡 勇人

1. 検討テーマ名

- (1) 自主基準の内容の確認
- (2) 市場の健全な拡大
- (3) 適正な広告を行うための情報収集・対応

2. 開催状況

部会は、7回開催した。(7月29日、10月10日、11月12日、12月8日、1月20日、2月13日、3月6日)

3. 実施内容

(1) 自主基準の内容の確認

- ・委員からの質問事項を厚生労働省に確認し、その回答を部会の委員で共有した。

(2) 市場の健全な拡大

- ・部会への参加を促し、今年度6社の企業に新たに委員登録していただいた。
- ・市場健全化のために、業界自主基準として透明性評価制度（仮称）の検討を始めた。

(3) 適正な広告を行うための情報収集・対応

- ・自主基準に合わないものが医療機器として販売されている事案について、消費者庁へ情報提供した。

4. 参加企業名

No	企業名	No	企業名
1	アドバンスジャパン(株)	7	西川(株)
2	(株)アテックス	8	ピップ(株)
3	(株)MTG	9	ファイテン(株)
4	エレコムヘルスケア(株)	10	ファミリー・サービス・エイコー(株)
5	オンヨネ(株)	11	山本化学工業(株)
6	セルヴァン製造宇治(株)	12	(株)ワコール

【健康増進機器制度部会】

委員長 山本 富造

1. 検討テーマ名

(1) 健康増進機器認定制度の普及促進

2. 開催状況

部会は開催せず、メールで健康増進機器製品の認定等を行った。

健康増進機器制度部会WGは、8回開催した。

(4月18日、6月11日、7月9日、8月28日、10月3日、12月11日、
2月18日、3月25日)

3. 実施内容

(1) 健康増進機器認定制度の普及促進

- ・読売新聞に健康増進機器認定制度の広告を掲載（10月6日(月)）し、認定制度の普及促進に努めた。
- ・バリアフリー2025（4月16日 - 4月18日）、Diet & Beauty Fair 2025（9月16日 - 9月18日）及び健康博覧会2026（2月25日 - 2月27日）において、健康増進機器認定製品の

展示等を行い、認定制度の普及促進に努めた。

- ・ Diet & Beauty Fair 2025 では、講演を行い、認定制度の普及促進に努めた。

Diet & Beauty Fair 2025 (9月16日(火)) 東京ビックサイト 西ホール

演題：着る医療機器市場の健全な育成とその大きな可能性

演者：会長 山本 富造

- ・健康増進機器認定制度ガイドラインについては、2025年3月に「ヘルスケアガイドライン自己宣言ロゴマーク」が付与されたことから、自己宣言ロゴの広告表現を作成の上、経済産業省と相談し、「HAPIマーク、健康増進認定製品マーク及び自己宣言ロゴの使用について」を取り纏め、会員企業に対し周知した。

4. 委員名及び企業名

健康増進機器制度部会

No	委員名(企業名)		No	委員名(企業名)	
1	委員長	山本 富造 (山本化学工業株)	6	委員	田中 清彰 (コスモヘルス株)
2	委員	今川 恭子 (株フットワン)	7	委員	濱田 美幸 (ファミリーイナダ株)
3	委員	菊地 眞 ((公財)医療機器センター)	8	委員	原 浩之 (株白寿生科学研究所)
4	委員	鈴木 朋久 (パナソニック株)	9	委員	松下 剛 (株MTG)
5	委員	竹原タカシ (株アクアバンク)			

健康増進機器制度部会 WG

No	委員名(企業名)		No	委員名(企業名)	
1	委員長	今川 恭子 (株フットワン)	6	委員	平田優一郎 (株アクアバンク)
2	副委員長	川上 智子 (山本化学工業株)	7	委員	藤巻 壮史 (コスモヘルス株)
3	委員	植 瑞貴 (ファミリーイナダ株)	8	委員	松田 貴史 (ファイテン株)
4	委員	登 祥子 (株イズミズ)	9	委員	吉田 昌史 (積水成型工業株)
5	委員	野村 史郎 (ダイトウボウ株)			

広報担当

No	委員名(企業名)		No	委員名(企業名)	
1	委員長	竹原タカシ (株アクアバンク)	2	副委員長	吉田 昌史 (積水成型工業株)

企業相談担当

No	委員名(企業名)	
1	委員長	今川 恭子 (株フットワン)

健康増進機器の範囲を検討するWG

No	委員名(企業名)	
1	委員長	小野 哲章 (滋慶医療科学大学大学院 客員教授)
2	委員	伊藤 健一 ((一財)日本消費者協会 教育啓発部事業担当課長)
3	委員	菊地 眞 ((公財)医療機器センター 理事長)
4	委員	嶋津 秀昭 (北陸大学医療保健学部 客員教授)
5	委員	田中 清彰 (コスモヘルス㈱ 相談役)
6	委員	原 浩之 (㈱白寿生科学研究所 代表取締役社長)
7	委員	山本 富造 (山本化学工業㈱ 代表取締役社長)

(4) 委員会の実施状況

【政策総務委員会】

委員長	山本富造
副委員長	田中清彰
副委員長	原浩之

① 第1回政策総務委員会

5月9日(金) (第293回理事会と合同開催)

- ・入退会の申出
- ・当協会役員等の選任(案)
- ・令和6年度事業概要報告書・収支決算書(案)
- ・健康博覧会2026の協賛名義使用の承認申請
- ・令和7年度表彰者(案)
- ・政策総務委員会前回(2月14日)議事録
- ・健康増進機器認定要領(2025年3月1日改正)等
- ・健康増進機器認定状況
- ・当協会の総会・理事会等当日(6月5日)のスケジュール(案)
- ・一般消費者向け医療機器等研究会

② 第2回政策総務委員会

9月5日(金)

- ・前回(5月9日)議事録
- ・ホームヘルス機器コンプライアンスマスター講習
- ・読売新聞に掲載する健康増進機器認定制度広告
- ・大神神社における神事
- ・第2回会員交流・名刺交換会
- ・家庭向け医療機器等適正広告・表示等に関する講習会(大阪開催)
- ・一般消費者向け医療機器等をめぐる問題と課題

③ 第3回政策総務委員会

12月5日(金)

- ・前回(9月5日)議事録
- ・令和8年度事業計画書・収支予算書(案)
- ・朝日新聞に掲載する当協会広告(案)

④ 第4回政策総務委員会

2月13日(金)

- ・ 前回(12月5日)議事録
- ・ 令和8年度各部会の事業計画書(案)
- ・ 令和8年度各委員会の事業計画書(案)
- ・ 当協会パンフレットの改訂(案)
- ・ 令和8年度の基礎講習及び継続的研修の日程表
- ・ 令和8年度の表彰候補者の推薦依頼

委員名及び企業名

No	委員名 (企業名)		No	委員名 (企業名)	
1	委員長	山本 富造 (山本化学工業株)	11	委員	鈴木 朋久 (パナソニック株)
2	副委員長	田中 清彰 (コスモヘルス株)	12	委員	阿比留 宏 (株日本理工医学研究所)
3	副委員長	原 浩之 (株白寿生科学研究所)	13	委員	熊崎 嘉月 (株MTG)
4	委員	渡邊 裕一 (日本ホームヘルス機器協会)	14	委員	西谷 由実 (株日本トリム)
5	委員	堀 晋司 (コロナ工業株)	15	委員	今川 恭子 (株フットワン)
6	委員	濱田 美幸 (ファミリーイナダ株)	16	委員	竹原タカシ (株アクアバンク)
7	委員	中村 直仁 (ピップ株)	17	委員	倉橋 司 (伊藤超短波株)
8	委員	鶴身 嘉徳 (オムロンヘルスケア株)	18	委員	新田 弘志 (株フジ医療器)
9	委員	秋本 龍二 (株ホーマーイオン研究所)	19	委員	水島 忍 (日本ホームヘルス機器協会)
10	委員	荏田 昌和 (ココロカ株)			

【適正広告・表示委員会】

委員長 西谷 由実
副委員長 荏田 昌和

1. 検討テーマ名

- (1) 適正広告・表示の周知活動
- (2) ホームヘルス機器の広告に関する調査・研究
- (3) 消費者等からの相談情報の収集、各部会及び各委員会等からの広告物等確認依頼の精査

2. 開催状況

委員会は、10回開催した。(5月16日、6月11日、7月16日、9月10日、10月8日、11月12日、12月10日、1月14日、2月18日、3月18日)

3. 実施内容

- (1) 適正広告・表示の周知活動
 - ・ 家庭用医療機器を販売する企業による薬機法違反(虚偽・誇大広告)に関する報道を受け、関係者からは大阪においても講習会を開催すべきとの声があった。これを受け、昨

年の東京開催に続き、令和7年11月21日（金）に「家庭用医療機器等適正広告・表示に関する講習会」をTKP新大阪カンファレンスセンター（大阪府）にて開催した。（受講者数55名）

- ・京都府健康福祉部薬務課を訪問し、当協会の概要及び委員会の活動内容について説明するとともに、情報交換を行った。

(2) ホームヘルス機器の広告に関する調査・研究

- ・事例収集及び調査・研究については、大阪講習会資料作成に時間を要したため、広告の調査・研究はできなかった。

(3) 消費者等からの相談情報の収集、各部会及び各委員会等からの広告物等確認依頼の精査

- ・当協会の消費者相談室に寄せられた相談内容等（苦情・問合せ・相談）については、当委員会で内容を確認した。
- ・理事会からの依頼で、入会前の企業の広告物を確認した。（1件）

4. 委員名及び企業名

(適正広告・表示委員会)

No	委員名(企業名)		No	委員名(企業名)	
1	委員長	西谷由実(株日本トリム)	13	委員	永井雅一(株黒田製作所)
2	副委員長	荻田昌和(ココロカ株)	14	委員	野口弘之(パナソニック株)
3	委員	井上五大(伊藤超短波株)	15	委員	伏見哲也(ピップ株)
4	委員	大澤久美(伊藤超短波株)	16	委員	藤原宏(コスモヘルス株)
5	委員	川上智子(山本化学工業株)	17	委員	二田裕矢(株白寿生科学研究所)
6	委員	川口悟(リビングテクノロジー株)	18	委員	星沢まど香(株タニタ)
7	委員	北本義明(株カモトコーポレーション)	19	委員	堀内規之(株ドリームファクトリー)
8	委員	定仲実祐(株フジ医療器)	20	委員	松田貴史(ファイテン株)
9	委員	佐藤誠治(株センチュリー)	21	委員	宮田有季(株MTG)
10	委員	佐藤由法(株日本理工医学研究所)	22	委員	三輪正康(丸菱産業株)
11	委員	辻井厚希(ファミリーイナダ株)	23	委員	酒井豊枝(日本ホームヘルス機器協会)
12	委員	鶴身嘉徳(オムロンヘルスケア株)	24	委員	桑原道貴(日本ホームヘルス機器協会)

(家庭用美容・健康機器適正広告表示検討WG)

No	委員名(企業名)		No	委員名(企業名)	
1	WG長	田上英二(株MTG)	6	委員	前橋香代子(株フィリップス・ジャパン)
2	委員	大澤久美(伊藤超短波株)	7	委員	松木朋美(パナソニック株)
3	委員	小出雄平(小泉成器株)	8	委員	味埜沙織(株ホームイオン研究所)
4	委員	高田潤(ヤーマン株)	9	委員	酒井豊枝(日本ホームヘルス機器協会)
5	委員	長野剛知(コメント電機株)	10	委員	桑原道貴(日本ホームヘルス機器協会)

【教育情報委員会】

委員長 田中清彰

副委員長 安彦和弘

1. 検討テーマ名

- (1) ホームヘルス機器コンプライアンスマスター講習の開催
- (2) ホームヘルス機器コンプライアンスマスター講習の普及に向けた取り組み

2. 開催状況

委員会は、1回開催した。(3月4日)

3. 実施内容

(1) ホームヘルス機器コンプライアンスマスター講習の開催

①協会主催による開催日及び受講者数

本年度は、WEBで開催した。

10月27日(月)～3月17日(火) WEB配信 受講者数671人

②受講者数累計 6,980人

平成26年度 1,296人

平成27年度 573人

平成28年度 1,074人 (新規547人、更新527人)

平成29年度 387人 (新規150人、更新237人)

平成30年度 758人 (新規430人、更新328人)

令和元年度 387人 (新規176人、更新211人)

令和2年度 101人 (新規58人、更新43人)

令和3年度 171人 (新規79人、更新92人)

令和4年度 559人 (新規197人、更新362人)

令和5年度 595人 (新規457人、更新138人)

令和6年度 408人 (新規91人、更新317人)

令和7年度 671人 (新規195人、更新476人)

(2) ホームヘルス機器コンプライアンスマスター講習の普及に向けた取り組み

①開催案内の送付、電話による勧誘及び当協会ホームページ等を活用して本講習の普及に努めた。

②講義テキストの更新(受講者に身近な事例を取り上げる等)等、講習内容の改善を図った。

4. 委員名及び企業名

No	委員名（企業名）		No	委員名（企業名）	
1	委員長	田中清彰（コスモヘルス(株)）	6	委員	田原周夫（(株)日本トリム）
2	副委員長	安彦和弘（日本ホームヘルス機器協会）	7	委員	藤原宏（コスモヘルス(株)）
3	委員	青山淳子（山本化学工業(株)）	8	委員	松田貴史（ファイテン(株)）
4	委員	新垣昌弘（(株)フジ医療器）	9	委員	荒川長寿（日本ホームヘルス機器協会）
5	委員	内村研哉（ヘルスイターメソッド(株)）			

【法制・QMS委員会】

委員長 荻田昌和
副委員長 荒川長寿

1. 検討テーマ

- (1) 会員が困っている課題等の改善に向けた施策検討
- (2) 関係省庁等からの情報収集及び情報発信

2. 開催状況

委員会は、4回開催した。（4月10日、7月10日、10月9日、1月22日）

3. 実施内容

- (1) 会員が困っている課題等の収集及びその改善に向けた施策検討

アンケートで収集した会員が困っている課題のうち、「ユーザビリティ及びサイバーセキュリティ」に関する通知やセミナー資料の解釈について、勉強会を実施した。勉強会は継続中。

また、それ以外の課題については、解決案を作成し回答した。

- (2) 関係省庁等からの情報収集及び情報発信

主に医機連の各委員会からの次期改正薬機法や提言等に関する進捗状況、発出通知等を情報発信した。

4. 委員名及び企業名

No	委員名(企業名)		No	委員名(企業名)	
1	委員長	荻田昌和（ココロカ(株)）	6	委員	鶴身嘉徳（オムロンヘルスケア(株)）
2	副委員長	荒川長寿（日本ホームヘルス機器協会）	7	委員	寺田俊輝（フランスベッド(株)）
3	委員	秋本龍二（(株)ホーメイワ研究所）	8	委員	沼田康一（大東電機工業(株)）
4	委員	高力飛佑（伊藤超短波(株)）	9	委員	松田貴史（ファイテン(株)）
5	委員	竹村利喜男（(株)白寿生科学研究所）	10	委員	安彦和弘（日本ホームヘルス機器協会）

【JIS・認証基準技術委員会】

委員長 秋本龍二
副委員長 島村英清

1. 検討テーマ名

- (1) 家庭用医療機器の JIS の周知活動及び改正内容の精査
- (2) 基本要件適合性チェックリストの周知活動及び改正内容の精査
- (3) 電気用品安全法改正等の情報収集
- (4) 家庭用美容・健康機器に関する安全規格の改正

2. 開催状況

委員会は、2回開催した。(7月18日、12月12日)

3. 実施内容

- (1) 家庭用医療機器の JIS の周知活動及び改正内容の精査
改正内容について、当委員会委員等より意見を集め検討を行った。
- (2) 基本要件適合性チェックリストの周知活動及び改正内容の精査
改正内容について、当委員会委員等より意見を集め検討を行った。
- (3) 電気用品安全法改正等の情報収集
日本電気協会等の各種委員会に参加し情報収集を行った。
- (4) 家庭用美容・健康機器に関する安全規格の改正
IEC 60335-2-115 の改正に向け、新たに電圧電流制限 WG を発足し、提案・対処を行った。

4. 委員名及び企業名

No	委員名(企業名)		No	委員名(企業名)	
1	委員長	秋本 龍二 (㈱ホームイオン研究所)	9	委員	鈴木 征志 (㈱白寿生科学研究所)
2	副委員長	島村 英清 (日本ホームヘルス機器協会)	10	委員	永井 雅一 (㈱黒田製作所)
3	委員	雨森 大治 (㈱トリムエレクトリックマシナリー)	11	委員	中村 潤二 (パナソニック㈱)
4	委員	石渡 弘美 (㈱ソーケンメディカル)	12	委員	橋口 哲朗 (パナソニック㈱)
5	委員	市川 勉 (オムロンヘルスケア㈱)	13	委員	原口 幸一 (パナソニック㈱)
6	委員	植 瑞 貴 (ファミリーイナダ㈱)	14	委員	伏見 哲也 (ピップ㈱)
7	委員	小林 猛 (伊藤超短波㈱)	15	委員	堀 晋司 (コロナ工業㈱)
8	委員	櫻井 光康 (西川㈱)	16	委員	桑原 道貴 (日本ホームヘルス機器協会)

【登録講習委員会】

委員長 阿比留 宏
副委員長 荒川 長寿

1. 検討テーマ

- (1) 医療機器の販売業及び貸与業の営業所管理者の基礎講習の開催
- (2) 医療機器の営業所管理者及び修理責任技術者の継続的研修の開催
- (3) 令和 8(2026)年度用の基礎講習及び継続的研修テキストの作成

2. 開催状況

委員会は、2回開催した。(9月8日、3月3日)

3. 実施内容

本年度の基礎講習は、実地開催を16回、eラーニング開催を10回、DVD開催を1回実施した。

また、本年度の継続的研修は、eラーニング開催を10回、DVD開催を3回実施した。

- (1) 医療機器の販売業及び貸与業の営業所管理者の基礎講習会の開催

実地による基礎講習は、8都市で16回開催。

eラーニングによる基礎講習は、10回開催。

DVDによる基礎講習は、1回開催(合計27回)

受講者は、3,291人であった。

- (2) 医療機器の営業所管理者及び修理責任技術者の継続的研修の開催

eラーニングによる継続的研修は、10回開催。

DVDによる継続的研修は、3回開催。(合計13回)

受講者は、16,755人であった。

- (3) 令和 8(2026)年度用の基礎講習及び継続的研修テキストの作成

基礎講習に用いる副読本等及び継続的研修に用いるテキストについては、昨年度実施した在り方検討プロジェクトで得た情報や合同打合せでの講師等からの意見、今年度行った受講者へのアンケート調査の結果をもとに見直しを行った。

4. 委員名及び企業名

No	委員名(企業名)	No	委員名(企業名)
1	委員長 阿比留 宏 (㈱日本理工医学研究所)	4	委員 財津 賢一郎 (オムロンヘルスケア㈱)
2	副委員長 荒川 長寿 (日本ホームヘルス機器協会)	5	委員 安彦 和弘 (日本ホームヘルス機器協会)
3	委員 荻田 昌和 (ココロカ㈱)	6	委員 内藤 桃子 (日本ホームヘルス機器協会)

【広報事業委員会】

委員長 堀 晋 司

副委員長 渡 邊 裕 一

1. 検討テーマ名

- (1) 一般紙への広告掲載について
- (2) 都営バスの音声広告について
- (3) ホームページについて

2. 開催状況

委員会は開催せず、メール・電話等でやり取りを行った。

3. 実施内容

(1) 一般紙への広告掲載について

- ①令和7年 5月28日（水） 日本経済新聞 全国版（朝刊）に、「国民の健康に寄与する未来への新たな胎動」と題して、弊協会会長と厚生労働省医療機器審査管理課長及び、経済産業省医療・福祉機器産業室長との対談の広告を行った。
- ②令和7年10月 6日（月） 読売新聞 全国版（朝刊）に「新しい家庭向け健康サポート健康増進機器認定制度」の広告を行った。
- ③令和8年 2月27日（金） 朝日新聞 全国版（朝刊）に「これまでも これからも 信頼と安心の製品を通じて 国民の健康づくりに貢献していきます」の協会PR広告を行った。

(2) 都営バスの音声広告について

当協会前の春日通りを往来する都営バス「都 02」系においては、上り・下りの湯島4丁目到着前に音声広告を行っているが、当協会の普及を図るため、継続することとした。

(3) ホームページについて

適宜コンテンツを修正・掲載した。

4. 委員名及び企業名

No	委員名（企業名）	No	委員名（企業名）
1	委員長 堀 晋 司（コロナ工業株）	6	委員 橋口 哲朗（パナソニック株）
2	副委員長 渡 邊 裕 一（日本ホームヘルス機器協会）	7	委員 本間 智介（榊白寿生科学研究所）
3	委員 今川 恭子（株フットワン）	8	委員 松田 貴史（ファイテン株）
4	委員 竹原 タカシ（株アクアバンク）	9	委員 水 島 忍（日本ホームヘルス機器協会）
5	委員 沼田 康一（大東電機工業株）		

1. 検討テーマ名

- (1) 健康増進機器製品の認定
- (2) 健康増進機器の評価審査基準の作成

2. 開催状況

委員会は、3回開催した。(7月25日、9月30日、2月17日)

3. 実施内容

(1) 健康増進機器製品の認定

健康増進機器製品の認定については、申請製品の安全性、品質（製造過程における品質保証など）及び機能の妥当性について当委員会において評価審査を行った。

また、健康増進機器製品認定申請書整理等WGは、企業からの認定申請に関する問合せ・相談に随時対応するとともに、評価審査委員会における円滑な審査に資するため、申請者から申請された健康増進機器製品認定申請書の整理等を行った。

(2) 健康増進機器の評価審査基準の作成

製品分類ごとの評価審査基準については、引き続き検討することとした。

4. 委員名及び企業名

健康増進機器評価審査委員会

No	委員名（企業名）	
1	委員長	菊地 眞 ((公財)医療機器センター 理事長)
2	委員	伊藤 健一 ((一財)日本消費者協会 教育啓発部 事業担当課長)
3	委員	小野 哲章 (滋慶医療科学大学大学院 客員教授)
4	委員	釘宮 豊城 (順天堂大学 名誉教授)
5	委員	嶋津 秀昭 (北陸大学医療保健学部 客員教授)
6	委員	安原 洋 (東京大学 名誉教授)

健康増進機器認定申請書整理等WG

No	委員名（企業名）	
1	委員	石倉 健治 (FTサポート)
2	委員	川上 智子 ((一社)日本ホームヘルス機器協会)

日本医療機器産業連合会 各種委員会委員一覧表

令和8年3月31日

委員会名	氏名	所属	協会所属の委員会	
企業倫理委員会 (倫理分科会含む)	安彦和弘	(一社)日本ホームヘルス機器協会 研修部長	教育情報委員会	
	コード分科会	安彦和弘	(一社)日本ホームヘルス機器協会 研修部長	教育情報委員会
講習・研修委員会	安彦和弘	(一社)日本ホームヘルス機器協会 研修部長	登録講習委員会	
法制委員会	菊田昌和	ココロカ(株) 取締役	法制・QMS委員会	
	荒川長寿	(一社)日本ホームヘルス機器協会 登録講習室長	法制・QMS委員会	
	基準分科会	島村英清	(一社)日本ホームヘルス機器協会 安全技術部長	JIS・認証基準技術委員会
	周知教育関連分科会	荒川長寿	(一社)日本ホームヘルス機器協会 登録講習室長	法制・QMS委員会
	適正広告基準の解釈に係わるWG	鶴身嘉徳	オムロンヘルスケア(株) CS統轄部 許認可部 グループリーダー	適正広告・表示委員会
	JMDNの定義修正/クラス分類見直しWG	荒川長寿	(一社)日本ホームヘルス機器協会 登録講習室長	法制・QMS委員会
	第二次薬機法改正検討WG	荒川長寿	(一社)日本ホームヘルス機器協会 登録講習室長	法制・QMS委員会
販売業等業態管理のデジタル化検討TF	葛生幸男	ココロカ(株) 商品開発部 品質管理課長		
QMS委員会	竹村利喜男	株白寿生科学研究所 品質保証部長	法制・QMS委員会	
	QMS調査制度検討WG (法制・QMS合同)	竹村利喜男	株白寿生科学研究所 品質保証部長	法制・QMS委員会
PMS委員会	寺田俊輝	フランスベッド(株) 品質管理部 品質管理課	法制・QMS委員会	
	不具合用語WG	荒川長寿	(一社)日本ホームヘルス機器協会 登録講習室長	法制・QMS委員会
	電子化された添付文書WG	高力飛佑	伊藤超短波(株) 規格部	法制・QMS委員会
技術委員会				
	EMC分科会	原口幸一	パナソニック(株)くらしアプライアンス社 ヒューティ・パーソナルケア事業部 技術企画部	JIS・認証基準技術委員会
販売・保守委員会	安彦和弘	(一社)日本ホームヘルス機器協会 研修部長	法制・QMS委員会	
	周知・研修WG	安彦和弘	(一社)日本ホームヘルス機器協会 研修部長	法制・QMS委員会
	課題対応WG	安彦和弘	(一社)日本ホームヘルス機器協会 研修部長	法制・QMS委員会
医療機器制度戦略会議	沼田康一	大東電機工業(株)	法制・QMS委員会	
	販売・修理における業態のあり方検討WG	沼田康一	大東電機工業(株)	法制・QMS委員会

外部委員会委員一覧表

令和8年3月31日

組織名	委員会名	氏名	所属	協会所属の委員会
(一社)日本医療機器産業連合会	常任理事	山本 富造	(一社)日本ホームヘルス機器協会 会長	
(公社)日本訪問販売協会	理事	渡邊 裕一	(一社)日本ホームヘルス機器協会 専務理事	
(公財)医療機器センター	評議員	山本 富造	(一社)日本ホームヘルス機器協会 会長	
東京薬業健康保険組合	健康保険委員会	渡邊 裕一	(一社)日本ホームヘルス機器協会 専務理事	
	健康管理委員会	渡邊 裕一	(一社)日本ホームヘルス機器協会 専務理事	
(一財)家電製品協会	家電製品PLセンター 連絡会	安彦 和弘	(一社)日本ホームヘルス機器協会 研修部長	法制・QMS委員会
	製品安全委員会技術法規WG	桑原 道貴	(一社)日本ホームヘルス機器協会 教育企画相談部長	JIS・認証基準技術委員会
(一社)日本電機工業会	第59/61/116小委員会 WG1	桑原 道貴	(一社)日本ホームヘルス機器協会 教育企画相談部長	JIS・認証基準技術委員会
(一社)日本電気協会	電気用品調査委員会	桑原 道貴	(一社)日本ホームヘルス機器協会 教育企画相談部長	JIS・認証基準技術委員会
	解釈等検討部会	桑原 道貴	(一社)日本ホームヘルス機器協会 教育企画相談部長	JIS・認証基準技術委員会
	整合規格検討部会	桑原 道貴	(一社)日本ホームヘルス機器協会 教育企画相談部長	JIS・認証基準技術委員会
	特別検討部会 (IoT関連)	桑原 道貴	(一社)日本ホームヘルス機器協会 教育企画相談部長	JIS・認証基準技術委員会
(一財)日本規格協会	電気用品安全法に活用される 電気安全規格のJIS開発性能規定化WG	桑原 道貴	(一社)日本ホームヘルス機器協会 教育企画相談部長	JIS・認証基準技術委員会
(一財)VCCI協会	CISPRJ電波雑音委員会	桑原 道貴	(一社)日本ホームヘルス機器協会 教育企画相談部長	JIS・認証基準技術委員会
(一社)日本医療機器産業連合会	第三者協議会 (家庭用医療機器WG)	秋本 龍二	㈱ホームイオン研究所 常務取締役	JIS・認証基準技術委員会